

# 令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立第五小学校

2. 令和6年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

|             |  |
|-------------|--|
| 立川市民科の取組の効果 | ・地域に住む様々な立場の方々に加え、地域貢献に努めている企業との関わりを通して、地域特有のよさに気付き、主体的・探究的な学習活動を実施することができた。<br>・生活科や社会科を中心とした、各学年の教科指導と結び付けながら学習を深めることができた。また、SDGsに関する知識も深めることができた。 |
| 立川市民科の取組の課題 | ・年間の35時間のカリキュラムを基に各学年で、学習活動に取り組んでいるが、学校全体で系統性のある年間指導計画を検討する必要がある。  |

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

| そう思う | 概ねそう思う | あまりそう思わない | 思わない | わからない |
|------|--------|-----------|------|-------|
| 56%  | 33%    | 8%        | 1%   | 2%    |

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

| そう思う | 概ねそう思う | あまりそう思わない | 思わない | わからない |
|------|--------|-----------|------|-------|
| 27%  | 45%    | 5%        | 0%   | 23%   |